

# 令和4年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況

令和6年3月

岩手県商工労働観光部

## 1 公表の考え方

- ・ 中小企業振興条例の規定に基づき、知事は毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表することとしています。

○中小企業振興条例

(施策の実施状況の公表)

第13条 知事は、毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表するものとする。

- ・ また、平成31年3月に策定された「岩手県中小企業振興第2期基本計画」(以下「基本計画」という。)においても、毎年度、前年度の実施状況を取りまとめ、県ホームページを通じて公表しています。
- ・ 今回の公表対象期間である令和4年度は、基本計画の期間(令和元年度～4年度)の4年度目となります。
- ・ 中小企業の振興に関する施策の実施状況として、令和4年度に実施した事業を、基本計画が定めている「推進する施策」ごとに分類し、取りまとめる形で記載しています。

## 2 岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成

- ・ 基本計画は、「計画の基本的な考え方」、「本県の中小企業・小規模企業者の現状と課題」、「目指す姿及び推進する施策」、「計画推進に向けて」の4章により構成されています。
- ・ この基本計画では、計画に基づく施策の実施を通じて企業の目指す姿を次のとおり位置づけ、これらの達成度をはかるための指標(目指す姿指標)を設定しています。

### <目指す姿>

～県民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる社会の実現を目指して～

#### 【目指す姿①】企業の魅力向上

- 県内の中小企業が、付加価値の高い商品やサービスをつくり出すことにより、企業としての魅力を高めています。

#### 【目指す姿②】働きやすい環境

- 県内の中小企業が、働きやすい環境を整備し、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を提供しています。

#### 【目指す姿③】利用の促進

- 県民をはじめ、県外の消費者にも県内中小企業が提供する商品やサービスについての共感が得られ、利用が進んでいます。

これらの取組により県内中小企業の事業活動が活発に展開され、資金、商品・サービス、人材・雇用、資源、エネルギー、情報など、地域の経済を地域で回すことにより、持続可能で活力ある循環型の地域経済の振興が図られています。

- ・ また、基本計画では、目標達成に向け**10の施策項目**を進めることとし、その達成度をはかるため**施策項目ごとに指標**を設定しています。

さらに、これらの施策を具体的に実施するため、施策項目ごとに構成事業を定めています。

### 【岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成（イメージ図）】

#### 第1章 計画の基本的な考え方

- 計画の位置付け・性格、計画期間 **令和元年度⇒4年度**、計画の構成

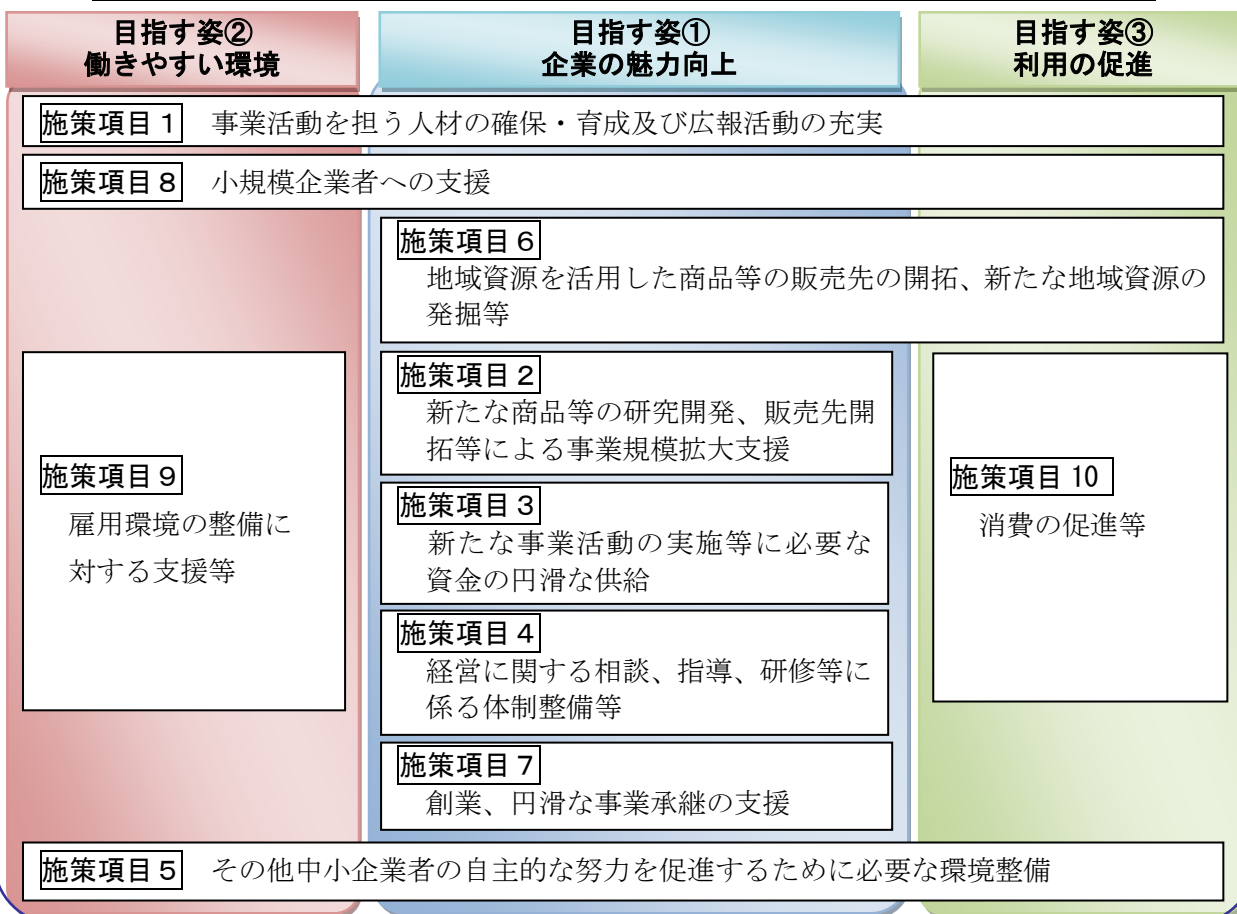
#### 第2章 本県の中小企業・小規模企業者の現状

- 中小企業者を取り巻く状況（経済の状況、東日本大震災津波による被害状況、人口展望）
- 本県の状況（企業数の推移、開業率・廃業率、県内総生産の推移、製造品出荷額の推移等）
- 前計画における中小企業・小規模企業者施策の主な実施内容

#### 第3章 目指す姿及び推進する施策

**目指す姿①：企業の魅力向上**   **目指す姿②：働きやすい環境**   **目指す姿③：利用の促進**

⇒ **目指す姿①・②・③の好循環により持続可能で活力ある地域経済の振興**



#### 第4章 計画推進に向けて

- 推進体制（行政に加え産業支援機関（※）、大学や試験研究機関、国等とも適切に連携）
- 市町村との連携（各市町村の中小企業振興施策と連携）
- 施策の実施状況の公表と計画の見直し（実施状況について、毎年度取りまとめ公表） 等

※ 産業支援機関

本計画の実施を支援する、岩手県商工会議所連合会、各商工会議所、岩手県商工会連合会、各商工会、岩手県中小企業団体中央会、（公財）いわて産業振興センター、岩手県中小企業家同友会、県内金融機関等の総称。

### 3 令和4年度中小企業振興に関する施策の概要

- ・ 中小企業振興に関する施策を推進するため、令和4年度は **152 事業**を実施し、決算額は計 **55,354,337 千円**となりました。
- ・ 岩手県中小企業振興第2期基本計画策定時に基準とした平成29年度（120事業実施、決算額 計124,478,073千円）と比較すると、69,123,736千円の減となりました。この主な要因は、県制度による設備資金などの需要が、東日本大震災津波からの復興が進展したことなどにより減ったためです。
- ・ 令和4年度に実施した152事業を、基本計画の施策項目ごとに分類すると、以下の表のとおりとなります。

#### 【施策項目ごとの事業数・決算額内訳】

施策項目	事業数	令和4年度 決算額（千円）
(1) 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	10 (39)	88,636 (3,194,766)
(2) 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援	10 (36)	266,472 (1,702,231)
(3) 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給	5 (6)	18,351,754 (47,387,916)
(4) 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等	3 (16)	16,033 (2,946,357)
(5) その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	18 (44)	31,459,002 (90,907,479)
(6) 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	38 (50)	1,243,838 (1,353,155)
(7) 創業、円滑な事業承継の支援	7 (22)	914,072 (3,917,282)
(8) 小規模企業者への支援	2 (39)	1,307,406 (52,686,643)
(9) 雇用環境の整備に対する支援等	25 (34)	958,946 (1,097,701)
(10) 消費の促進等	22 (33)	690,713 (793,230)
その他広域振興圏における主な取組	12 (12)	57,465 (57,465)
合計	152 (331)	55,354,337 (206,044,225)

※ 上記（ ）内の数値は、複数の施策項目に再掲事業として掲載しているものを全て合計したもの

- ・ 個別事業の実施状況については、「令和4年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況一覧表」のとおりです。

**【参考】達成度の判定について**

達成度については、政策評価レポート2023の記載に基づき、目標値に対する達成率(%)に応じて下表のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上100%未満	60%以上80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

[目標達成率の計算式]

- ① 通常の指標 (H29 現状値から数値を上げる目標の場合)  
 $(R4 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R4 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ② 維持指標等 (H29 現状値を維持する目標等)  
 $(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値等}) \times 100$
- ③ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、①・②の計算式により難しい場合  
 $(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値}) \times 100$

(「①」等の標記は、当該年度以外の実績・目標値を示す。)

#### 4 令和4年度における目指す姿指標及び施策項目ごとの指標の達成状況

岩手県中小企業振興第2期基本計画では、計画に定める3つの目指す姿(①企業の魅力向上、②働きやすい環境、③利用の促進)の実現に向けた達成度をはかるため、4つの目指す姿指標と、125の個別施策の指標を設定しています。

##### (1) 令和4年度の各指標の達成度

評価	令和4年度	(参考) 令和3年度
達成【A】	70 指標	84 指標
概ね達成【B】	25 指標	15 指標
やや遅れ【C】	8 指標	7 指標
遅れ【D】	15 指標	14 指標

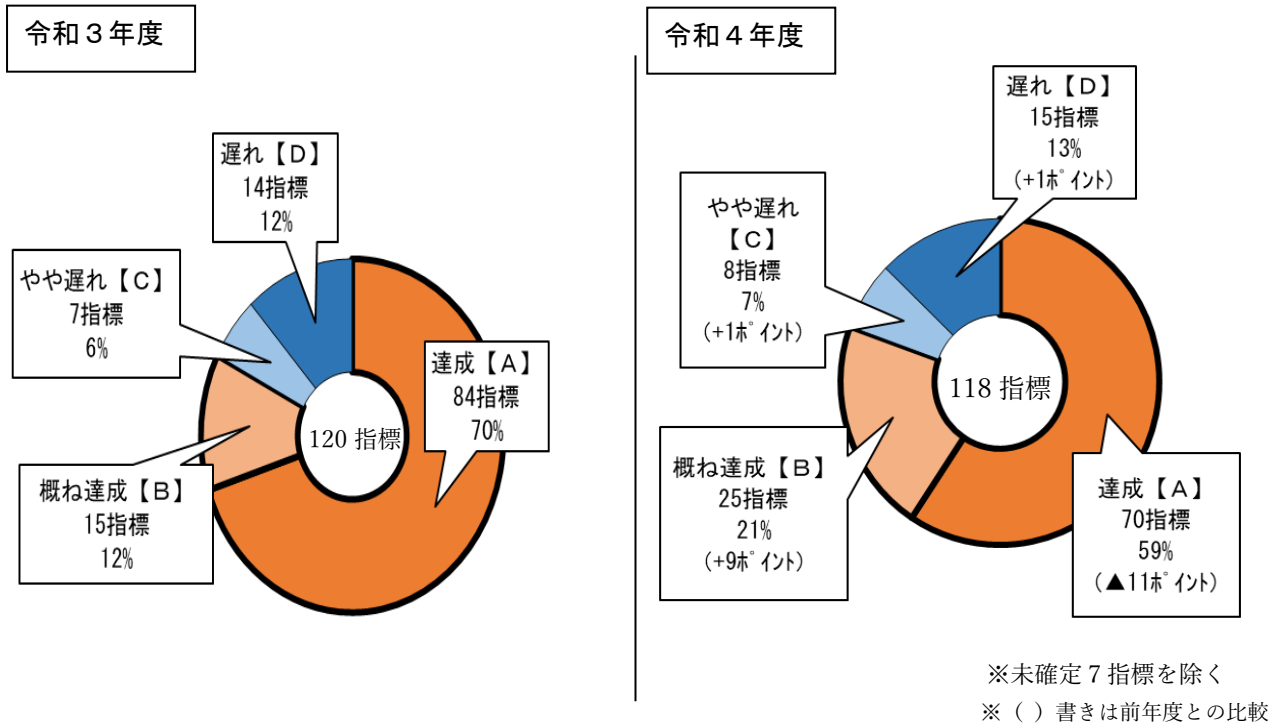
※達成【A】と概ね達成【B】の合計の割合は80% (令和3年度: 82%) となりました。

##### (2) 総論

- ・ 令和4年度は、ウィズ・アフターコロナに向けた新たな段階への移行が進み、個人消費を中心に、生産などにおいても持ち直しの動きがみられましたが、一方で、約32年ぶりの水準を更新した急速な円安の進行や、これに伴う輸入物価の上昇、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした原材料やエネルギー、食料品等の価格高騰が生じた結果、価格転嫁の困難な企業の収益や家計を圧迫しました。
- ・ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、指標の達成に向けた各種取組を中止、縮小又は延期した年でしたが、令和3年度から令和4年度にかけては、正常化にむけて取組を再開しています。

- 達成度が、やや遅れ【C】と遅れ【D】の指標について、概ね、前年度と同様の傾向が続いています。やや遅れ【C】又は遅れ【D】となった指標については、今後の取組方向を記載しております。

【参考】令和3年度と令和4年度の達成度の比較（施策項目）



達成度	※未確定5指標を除く			
	達成【A】 100%以上	概ね達成【B】 80%以上100%未満	やや遅れ【C】 60%以上80%未満	遅れ【D】 60%未満
中小企業振興基本計画	70	28	8	16
目指す姿指標	0	3	0	1
施策項目	70	25	8	15
1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	8	2	1	3
2 新たな商品等の研究開発、販売先開拓等による事業規模拡大支援	9	5	0	1
3 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給	2	0	0	0
4 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等	2	1	0	0
5 その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	10	1	1	0
6 地域資源を活用した商品等の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	12	5	0	4
7 創業、円滑な事業承継の支援	6	1	1	0
8 小規模企業者への支援	0	0	0	0
9 雇用環境の整備に対する支援等	8	3	4	4
10 消費の促進等	13	7	1	3

## 5 目指す姿指標の達成状況

### 【目指す姿①】 企業の魅力向上

(指標) 従業者一人当たりの付加価値額 (千円)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑳5, 983	㉑6, 164	㉑6, 036	遅れ【D】 (60%未満)	㉑6, 164

- 従業者一人当たりの付加価値額：生活関連サービス業・娯楽業において大幅に増加するなど、前年度の実績よりも約5.5%上昇したものの、当初設定した目標値に届きませんでした。

#### <今後の方向>

エネルギー価格・物価高騰など社会経済環境の変化に的確に対応し、新分野展開や業態転換等の取組を通じた売上確保、生産性の向上など、中小企業者の付加価値向上に向けた取組の支援を推進します。

### 【目指す姿②】 働きやすい環境

(指標) 総実労働時間 [年間] (時間)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1, 858. 8	1, 720. 8	1, 748. 4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1, 720. 8

(指標) 高卒者の県内就職率 (%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65. 8	84. 5	73. 6	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	84. 5

### 【目指す姿③】 利用の促進

(指標) 県の官公需契約件数に占める中小企業との契約件数の割合 (%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
89. 1	91. 5	86. 1	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	91. 5

## 6 施策項目ごとの指標の達成状況

### 施策項目1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実

#### 【推進した施策】

- ものづくり産業人材の育成・確保・定着
- 建設業の将来を担う人材の確保、育成
- 情報通信技術（ICT）人材の育成
- 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成
- 地域産業の国際化に貢献する人材の育成
- キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
- 高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進
- 地域をけん引する人材育成と若者定着の促進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 若者の活躍支援

#### 【主な取組状況】

##### ■ものづくり産業人材の育成・確保・定着

地域ものづくりネットワーク等を中心とした産学官連携による小中学生を対象とした工場見学や出前授業、工業高校生を対象とした実技講習会、高等教育機関等との連携による高度技術人材の育成、企業人を対象とした勉強会等、各ステージに応じたものづくり人材育成を進めています。

・高校の生徒、教員及び保護者や大学生等を対象とした工場見学、県内外の大学生等への企業情報の提供や企業説明会等により、県内定着及びU・Iターンの促進に取り組んでいます。

#### 計画における指標

地域ものづくりネットワーク（※）等と連携した工場見学への参加高校生数（人）（延べ）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
1,879	1,900	2,643	達成【A】 (100%以上)	1,900

※ 地域ものづくりネットワーク

ものづくり人材育成の推進を目的に設立された産学官によるネットワーク組織。県内の各地域（北上川流域、宮古、気仙、県北）で組織されている。

三次元設計開発技術を習得した高校生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
63	290	335	達成【A】 (100%以上)	290

## ■建設業の将来を担う人材の確保、育成

建設現場における技術力の向上に向けて、関係機関と連携した講習会の実施や、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

### 計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（単位：人）〔累計〕＜再掲＞

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
962	4,000	4,316	達成【A】 (100%以上)	4,000

## ■情報通信技術（ICT）人材の育成

最新の情報通信技術（ICT）を紹介する県民向けフェア、オープンデータやIoT（※）等に関する企業や市町村職員等向けセミナーの開催等によりICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組んでいます。

※ IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

### 計画における指標

ICTセミナー受講者数（オンラインも含む）（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②431	841	1,268	達成【A】 (100%以上)	841

## ■科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

最先端の科学技術に触れる機会の提供等を通じて、科学技術に関する興味や関心を高めることなどにより、本県の多様な資源と技術を生かした研究開発を担う人材の育成に取り組んでいます。

### 計画における指標

科学技術普及啓発イベント等来場者数（オンラインを含む）（単位：人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②1,093	8,000	1,620	遅れ【D】 (60%未満)	8,000

- 科学技術普及啓発イベント等来場者数（オンラインを含む）：科学技術普及啓発イベントと公設試験研究機関等の一般公開を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場の規模を縮小して開催したことにより、来場者数が減少しました。

### ＜今後の方向＞

県内外の研究機関等と連携し、デジタル技術も活用しながら、最先端の科学技術や海洋研究を身近に感じられる機会の提供を通じて、科学技術に関する興味や関心の向上に取り組めます。



## ■地域産業の国際化に貢献する人材の育成

- ・学生の国際的視野を養うため、企業や団体、高等教育機関、行政など産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」を活用し、学生の海外留学や、留学に向けた地域課題を把握するための地元企業等へのインターンシップを支援しています。
- ・外国人留学生やJETプログラム経験者の県内就職を促進するため、県内企業と留学生等のマッチングやインターンシップの機会を提供しています。

### 計画における指標

いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③05	13	11	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	13

グローバルキャリアフェアの参加者数（オンラインを含む）（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②74	165	124	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	165

グローバルキャリアフェアの参加者数（オンラインを含む）〔累計〕：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加対象である外国人留学生等が減少しました。

#### <今後の方向>

学生の海外留学や、グローバルキャリアフェア等の実施により、外国人留学生等を含めたグローバル人材の県内就職を促進する取組を支援します。

## ■キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

- ・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を育成するため、キャリア教育を一層推進し、社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等に取り組んでいます。
- ・児童生徒、保護者、教員の地域企業等への理解や関心を高めるため、県内の産業界等と連携し、企業見学会や企業ガイダンスの開催などに取り組んでいます。

### 計画における指標

将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合（単位：％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
55	65	49	遅れ【D】 (60%未満)	65

- 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合：各校におけるキ

キャリア教育の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により生徒が体験的な学習を通じてキャリアデザインを行う機会が減少しました。

＜今後の方向＞

児童生徒の進路実現に向け、各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力の育成を推進します。

また、社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等に取り組みます。

■高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進

東日本大震災津波からの復興やふるさと振興を進める上での様々な地域課題の解決に向けて、高等教育機関の専門的知識を活用した共同研究を推進するほか、新たな仕組みを地域に定着させるための取組などを展開しています。

計画における指標

地域課題解決を目的とした県内高等教育機関との共同研究数（単位：件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	60	73	達成【A】 (100%以上)	60

■地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進

県内大学生等の卒業後の地元定着を高めるため、産学官連携による県内企業の魅力向上を図るとともに、県内企業と大学生等との交流機会の創出等による地元定着の意識の醸成に取り組んでいます。

計画における指標

県内企業等へのインターンシップ参加者数数（オンラインを含む）（単位：人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②189	190	660	達成【A】 (100%以上)	190

岩手県立大学卒業生の県内就職率（単位：％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
46.4	52.5	42.5	遅れ【D】 (60%未満)	52.5

- 岩手県立大学卒業生の県内就職率：県内企業を中心とした合同企業説明会や業界研究セミナー開催などの取組を行いました。首都圏をはじめ、全国的な有効求人倍率の上昇に伴い、県外企業からの求人の増加が見られ、県内就職率が伸び悩みました。

#### ＜今後の方向＞

県内学生等と県内企業との交流機会の充実を図り、高等教育機関等と連携し、県内企業の魅力を伝える取組や県内就職を希望する学生と求人企業とのマッチングを支援する取組を継続して実施するとともに、地域や岩手を学ぶ地域ニーズに対応した教育プログラムへの反映などにより、県内学生等の地元定着意識の醸成に取り組めます。

また、高等教育機関や企業等と連携し、大学資源を活用した産業の創出の促進や、社会人の学び直しを行うためのリカレント教育の充実、県内での起業を目指す大学生や社会人等を対象とした実務教育の実施など、雇用の創出に向けた取組を推進します。

### ■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進 [再掲]

(施策項目 9 を参照)

### ■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保

若者の起業マインドの醸成や、後継者の経営能力の向上を図るための取組を大学や商工指導団体等と連携して行っています。

#### 計画における指標

商工指導団体による創業指導回数 (単位：回) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②1,017	1,617	2,093	達成【A】 (100%以上)	1,617

いわて起業家育成資金の貸付件数 (単位：件) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
76	360	391	達成【A】 (100%以上)	391

### ■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

### ■売れる観光地をつくる体制の整備促進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

### ■若者の活躍支援

若者が地域の課題解決を目指して、自由な発想で考え、話し合い、次への活動につながられるよう、地域づくり、ボランティア、起業、文化等の多様な分野で活躍する若者の交流促進を図り、若者同士のネットワークづくりの支援に取り組めます。

#### 計画における指標

いわて若者交流ポータルサイト登録団体数 (単位：団体) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②95	107	103	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	107

## 施策項目2 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援

### 【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進
- 地域経済の好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進
- 企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出
- 企業の生産性や付加価値の向上にむけた「ものづくり革新」への対応
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

### 【主な取組状況】

#### ■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業者が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新分野への進出、新商品の開発など新たな事業活動に取り組めるよう、産業支援機関と連携して「経営革新計画（※）」の策定を支援しています。

#### ※ 経営革新計画

「中小企業等経営強化法」に基づき、事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ることを目的として作成する計画。この計画の承認を受けることにより、県の融資制度等による支援措置を受けることが可能となる。

### 計画における指標

経営革新計画承認件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
549	828	849	達成【A】 (100%以上)	828

商工指導団体による指導を受けた企業・組合数（企業・組合）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
37,000	156,251	148,984	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	156,251

#### ■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出

地域に密着した商業・サービス業者等の持続的発展を図るため、市町村や商工指導団体と連携して、付加価値の高い商品やサービスの創出、生産性の向上の取組を支援しています。

### 計画における指標

商業・サービス業者に対する専門家利用企業数（企業）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
97	540	984	達成【A】 (100%以上)	540

### 計画における指標

にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合（％）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②742.6	65.2	68.2	達成【A】 (100%以上)	65.2

### ■産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進

・自動車関連産業については、展示商談会や工程改善研修会の開催、設備投資支援、人材育成支援等を通じて、県内における一層の産業集積を図るとともに、岩手の優れたクルマづくり技術のグローバル展開を促進し、地場企業の更なる業容拡大・技術力向上につながる取組を支援しています。

・半導体関連産業については、地場企業の技術力向上等を支援し、誘致企業をはじめとする関連企業との協業・取引拡大につながる取組を推進するとともに、県内大学等と連携し、社会人や県内の学生を対象とした技術習得や教育訓練を実施する等、世界的に拡大している半導体市場を的確に捉えた取組を推進し、中核産業としての成長力を高めています。

### 計画における指標

地場企業の自動車関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
36	140	165	達成【A】 (100%以上)	140

地場企業の半導体関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48	120	106	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

### ■地域経済に好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進

地場企業の技術高度化や新技術開発等の取組を支援し、国内外に一定のシェアを持つ県内各地の中核的企業と地場企業群とのサプライチェーンの構築につなげ、さらには、形成した地域クラスターの拡大を促進しています。

### 計画における指標

クラスターに新規に参加する地場企業数（社）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	16	16	達成【A】 (100%以上)	16

クラスター参入企業における新規取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	20	19	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	20

## ■企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出

- ・医療機器、ロボットなどの新たな産業分野への県内企業の参入を促進するため、企業間連携や産学官連携による関連技術開発、販路開拓等の取組を支援しています。
- ・航空機、加速器関連などの将来成長が見込める有望な産業については、産業支援機関等と連携し、情報収集や地場企業のニーズ把握等を進めています。

### 計画における指標

医療機器関連取引成約件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	32	37	達成【A】 (100%以上)	32

医療関連機器等の新製品開発件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1	8	8	達成【A】 (100%以上)	8

産学官連携によるロボット開発件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2	7	12	達成【A】 (100%以上)	7

## ■企業の生産性や付加価値の向上に向けた「ものづくり革新」への対応

企業の生産性や付加価値の向上に向けて、生産現場におけるカイゼン、3S、DXシステムの導入等の取組を支援します。

### 計画における指標

ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の付加価値額（百万円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②385,425	③415,212	③519,294	達成【A】 (100%以上)	③415,212

創意工夫功労者賞（※）受賞者数（人）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
32	160	62	遅れ【D】 (60%未満)	160

- 創意工夫功労者賞受賞者数 [累計]：表彰制度の周知活動強化に努めたことにより、令和4年度は全国で4番目となる10名の受賞者数となりましたが、令和元年度の国の推薦要領の変更による全国受賞者数の減少に伴い、岩手県の受賞者も減少となりました。

### <今後の方向>

創意工夫功労者の受賞者数増加に向けて、これまでの応募企業に対して継続的な情報の提供、応募への働きかけを行うとともに、カイゼン活動やQCサークル活動等に積極的に取り組む企業に対して創意工夫功労者賞への理解促進と応募への働きかけにより裾野拡大に取り組めます。

※ 創意工夫功労者賞  
優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を対象にした文部科学大臣が表彰する賞のこと。

## ■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

(施策項目 6 を参照)

## ■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援

沿岸地域の主要産業である水産加工業が抱える原材料の調達や労働力の確保といった課題に対応するため、関係機関と連携しながら相談会等による商品開発、商談会やフェア等による販路開拓、カイゼンによる生産性向上及び人材育成などに取り組んでいます。

### 計画における指標

商品開発等の支援を受けた水産加工業者件数 (件) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
35	160	132	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	160

国内の食の商談会等出展者(水産加工業) 数 (オンラインを含む) (者) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②186	375	363	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	375

## ■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

### 施策項目 3 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給

#### 【推進した施策】

○企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

#### 【主な取組状況】

#### ■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

中小企業者の事業活動に必要な資金や、県内中小企業が経営の安定に支障を来すおそれのある場合に、運転資金など経営改善の取組に必要な資金の貸付を行っています。

また、経営の革新等により今後の成長や周辺企業への波及効果が期待される中小企業への設備投資を支援するため、(公財) いわて産業振興センターが行う設備貸与事業に要する事業原資の貸付を行っています。

### 計画における指標

商工観光振興資金及び中小企業成長応援資金の貸付件数 (件) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
758	2, 256	3, 140	達成【A】 (100%以上)	2, 256

設備貸与制度の利用実績（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
60	120	121	達成【A】 (100%以上)	120

**施策項目 4 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等**

**【推進した施策】**

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

**【主な取組状況】**

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進〔再掲〕  
(施策項目 2 を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進〔再掲〕  
(施策項目 7 を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出〔再掲〕  
(施策項目 2 を参照)

■建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

・社会資本の整備や維持管理、災害時の対応を担う地域の建設企業における建設技能労働者の確保に向け、建設業の魅力の発信等に取り組むほか、建設現場における労働環境の改善に向けた意識啓発に取り組み、若者や女性等が働きやすい労働環境の整備を促進しています。

・建設現場における生産性の向上に向け、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

・県内建設業の総合対策として、いわて建設業振興中期プランに基づき、地域の建設企業の経営基盤の強化や経営革新のほか、新分野・新事業に取り組む企業に対する支援等を行っています。

**計画における指標**

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	4,000	4,316	達成【A】 (100%以上)	4,000

ICTを活用した県営建設工事の実施数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14	50	134	達成【A】 (100%以上)	50



経営支援センターの助言等による新事業立ち上げ企業数（社）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	135	134	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	135

## 施策項目5 その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備

### 【推進した施策】

- 被災した水産加工業者に対する支援
- 三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援
- 三陸の多様な資源を生かした研究開発の推進
- 企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進
- 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
- 国際研究拠点の形成と関連インフラの整備
- イノベーションの創出に向けた研究開発の推進
- ICT 利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

### 【主な取組状況】

#### ■被災した水産加工業者に対する支援[再掲]

(施策項目5「被災企業の事業再開の推進」を参照)

#### ■三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援

三陸の多様な資源を生かした産業の振興が図られるよう、復興まちづくりに合わせて、若者や女性をはじめとした被災地での起業、新事業進出等の新たなビジネス立ち上げを支援してきたところであり、令和3年度からは、経営指導や専門家派遣により、初期費用補助を活用した事業者等の事業の継続や拡大を支援しています。

### 計画における指標

沿岸地域起業家等成長支援事業費における支援事業者数（者）

R4 実績値	R4 計画値
40	35

#### ■被災企業の事業再開の推進

複数の中小企業等が一体となって、サプライチェーンの回復、地域の産業集積、商業集積機能の維持・再構築を図る場合に、当該事業に必要な施設・設備の復旧・整備を支援しています。

また、産業支援機関と連携し、経営の安定化を支援するとともに、事業計画策定等の支援を通じて、事業再開した被災地の中小企業者の販路開拓や売上増加に向けた取組を支援しています。

### 計画における指標

中小企業東日本大震災復興資金貸付金による融資額（億円）

R4 実績値	R4 計画値
14	10

三陸水産加工業等支援事業費による企業訪問回数（回）

R4 実績値	R4 計画値
155	100

三陸水産加工業等支援事業費による経営革新計画策定事業者数（者）

R4 実績値	R4 計画値
11	8

### ■企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進

製造業や情報通信業などの製造・技術部門に加え、物流や研究開発・企画総務などの本社機能移転も視野に入れた企業の誘致や、既立地企業の関連企業の誘致に取り組み、県内における一貫体制の構築と地域中核企業の一層の拠点化・高度化を推進するとともに、市町村との連携による産業立地基盤の整備、ビジネス・生活環境の整備を促進しています。

県北・沿岸地域においては、多様な就業の場を確保するための新規誘致や既立地企業の業容拡大に加え、地域全体の競争力の強化のため、地場企業を含めた生産性・技術力の向上などを支援しながら、地域産業の高度化に取り組んでいます。

### 計画における指標

新規立地・増設件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
29	100	145	達成【A】 (100%以上)	100

県北・沿岸地域における新規立地・増設件数（上記指標の内数）（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
6	20	22	達成【A】 (100%以上)	20

### ■多様なものづくりの風土の醸成

個人がデジタル工作機器等に触れることができる「ファブテラスいわて」の利用拡大等により、ものづくりが身近になることで、独創的なアイデアを製品開発や起業に結び付けられるような多様なものづくり風土の醸成を図っています。

### 計画における指標

ファブテラスいわての利用者数（人）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	3,840	4,404	達成【A】 (100%以上)	3,840

計画目標値は R2 からの累計

### ■廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進

事業者による 3 R (※) を促進するため、廃棄物の発生抑制等に資する技術や製品の開発など新たな環境産業の創出や環境に配慮した事業活動を支援しています。

※ 3 R

Reduce (リデュース：廃棄物の発生抑制)、Reuse (リユース：再使用)、Recycle (リサイクル：再生利用) の 3 つの英語の頭文字をとったもの。3 つの R に取り組むことでごみを限りなく少なくし、環境への影響を極力減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会 (= 循環型社会) をつくろうとするもの。

### 計画における指標

事業者等の 3 R 推進の取組に対する支援実施件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
101	131	140	達成【A】 (100%以上)	131

### ■国際研究拠点の形成と関連インフラの整備

・ I L C (※ 1) の実現による国際研究拠点の形成に向けて、「I L C による地域振興ビジョン」(令和元年 7 月策定) に基づき、東北 I L C 事業推進センターと連携した建設候補地として必要となる受入環境の整備に向けた調査検討や、県内企業の加速器関連産業への参入等の支援に取り組んでいます。

・いわて海洋研究コンソーシアム (※ 2) をはじめ、県内のみならず、海外の研究機関との連携や新しい研究機能の誘致活動を推進し、海洋分野の国際研究拠点の形成に取り組めます。

※ 1 I L C

International Linear Collider (国際リニアコライダー) の略。全長 20~50 km の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ、質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設。

※ 2 いわて海洋研究コンソーシアム

海洋研究機関等のネットワーク強化による研究プロジェクトの創出や研究者の集積を図ることにより沿岸地域における産業の活性化に寄与することを目的に、東京大学大気海洋研究所をはじめとする沿岸地域に立地する海洋研究機関と地域の行政、商工指導団体等により平成 21 年 (2009 年) 7 月に設立。

### 計画における指標

研究者等調査対応件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	75	75	達成【A】 (100%以上)	75

加速器関連産業における共同研究開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	4	4	達成【A】 (100%以上)	4

三陸海域論文知事表彰応募件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③10	40	29	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	40

- 三陸海域論文知事表彰応募件数〔累計〕：震災後の東北太平洋沿岸地域の海洋生態系調査と新産業創成につながる技術開発を行う国の事業が令和2年度をもって終了したことにより、三陸海域を対象とした研究が減少したことや、新型コロナウイルス感染症の影響で研究者が三陸を訪れて研究することが困難な状況が続いたことから、応募件数が伸びませんでした。

＜今後の方向＞

三陸海域をフィールドとした三陸海域論文知事表彰について、三陸沿岸の大学をはじめとした研究機関等に対して事業の周知を図るほか、過去に応募のあった機関へ協力を呼びかけ、応募を推進します。

■イノベーションの創出に向けた研究開発の推進

ものづくり産業や農林水産業をはじめとする各分野における課題解決を図るため、先端科学技術の成果の生産現場導入を推進しています。また、本県の多様な資源と技術を生かした研究シーズの創出・育成に向け、研究開発基盤の強化、資金支援、産学官金連携の取組を推進しています。

計画における指標

特許出願等相談件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,599	1,700	1,728	達成【A】 (100%以上)	1,700

特許出願件数（件）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②480	500	-	-	500

- 特許出願件数：「岩手県知的財産活用促進プラン」に基づき、出願件数増加に向けて、県内中小企業等を対象とした知的財産の普及啓発などに取り組みましたが、国の統計結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

県の支援による科学技術に関する競争的資金獲得件数（件）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	10	11	達成【A】 (100%以上)	10

公設試験研究機関における産学官共同研究数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	500	577	達成【A】 (100%以上)	500

## ■ ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

企業や市町村にICTの専門家を派遣し、ICTの利活用による業務改善等についてアドバイスを行っています。また、最新のICTの利活用事例に関するフェアやセミナーの開催により、県民や市町村、企業等への普及啓発を行っています。

### 計画における指標

ICTフェア来場者数（オンラインを含む）（人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②152	640	628	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	640

ICTセミナー受講者数（オンラインを含む）（人）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②431	841	1,268	達成【A】 (100%以上)	841

## 施策項目6 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等

### 【推進した施策】

- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進      ○質の高い旅行商品の開発・売込み
- 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- 県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進
- 県産農林水産物の評価・信頼の向上
- 戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応
- 生産者と消費者の結びつきを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進
- 温室効果ガス排出削減対策の推進      ○再生可能エネルギーの導入促進
- 地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

### 【主な取組状況】

#### ■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

本県食産業振興の協働体制であるプラットフォーム「FCP（※）岩手ランチ」（構成員：企業、生産者、産業支援機関、行政等）などの活動を通じて、農商工連携や事業者間連携を促進しています。

※ フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）

農林水産省が提唱しているもので、食品事業者が主体的に行う「食の安全・安心」の活動を“見える化”することにより、食に対する消費者の信頼向上や、企業業績の向上につなげようとする取組。

### 計画における指標

国内の食の商談会等出展者数（オンラインを含む）（者）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②904	1,800	1,989	達成【A】 (100%以上)	1,800

国内の食の商談会有望取引件数（オンラインを含む）（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②686	1,400	1,392	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,400

#### ■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

・伝統工芸産業については、ライフスタイルの変化を捉えた新商品開発や物産展等を通じた新たな顧客層の開拓などを支援しています。

・漆産業については、情報発信や人材育成、対面販売等を行うイベント「漆の学校」の開催等を通じて、漆器の販路拡大や若手漆作家の技術向上の支援、インターンシップなどによる担い手の確保などに取り組んでいます。

・アパレル産業については、事業者の経営力を強化するため、縫製技術のレベルアップやマネジメント力向上等を目的とした人材育成を推進しています。

## 計画における指標

岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数（延べ）（者） [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②123	220	151	遅れ【D】 (60%未満)	220

- 岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数(オンラインを含む)  
(延べ)：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、百貨店における物産展の開催規模が縮小されたこと等に伴い、出展者数が減少しました。

### ＜今後の方向＞

- ・ 工芸品の販売で重視される対面による接客機会の確保を通して、売上の向上、新規顧客の開拓と情報発信の機会の確保に努めます。
- ・ 対面ではない新規顧客の獲得とリピーターの確保を目指し、買うなら岩手のものパ一チャル物産展の利用を促すなど、オンライン販売への参入支援に努めます。
- ・ 専門家による商品開発及び販路開拓など売れる仕組みづくりに向けた事業者の経営力向上を支援していきます。
- ・ 地場産業の魅力を広く発信し、ファンの新規獲得やそれぞれの産業の担い手候補となる人材確保に努めます。

岩手県が実施する物産展・展示販売会等での漆器販売額（万円） [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②732	810	828	達成【A】 (100%以上)	810

アパレル商談会成約件数（件） [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②6	21	18	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	21

### ■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

### ■質の高い旅行商品の開発・売込み [再掲]

(施策項目 10 を参照)

## ■快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- ・県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及、住宅の耐震改修の促進など、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- ・地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの取組を促進します。

### 計画における指標

新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅(※)の割合 (%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10.2	13.0	13.1	達成【A】 (100%以上)	13.0

※ 長期優良住宅

長期にわたり住み続けられるよう劣化対策や耐震性、維持管理の容易性などの措置が講じられた優良な住宅のこと。

## ■県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進

6次産業化を推進するため、「食のプロフェッショナルチーム」アドバイザーによる商品開発等に関する指導や、「いわて6次産業化支援センター(※)」による事業計画策定等に関するサポート活動など、生産者による取組を支援しています。

※ いわて6次産業化支援センター

県が、生産者等の6次産業化の取組を総合的に支援する目的で設置し、各種サポート活動を行うもの。

### 計画における指標

6次 産業化による販売額 (億円)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8303	③ 318	③ 357	達成【A】 (100%以上)	③318

商品開発等の支援による6次産業化件数 (件) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12	48	48	達成【A】 (100%以上)	48

素材需要量 (千m<sup>3</sup>)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,346	1,206	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量：県産木材の需要拡大に向けて、県産木材を使用した住宅や民間商業施設への支援などに取り組み、令和4年の実績値は、令和3年に比べ増加したものの、資材高騰等により、全国的に住宅着工戸数が減少し、木材製品の需要が低下しました。



<今後の方向>

県産木材の需要拡大に向けて、公共施設等での県産木材の率先利用とともに、県産木材を使用する住宅や民間商業施設への補助による支援等に取り組みます。  
 また、全国植樹祭の開催を契機として、全県的に木材利用の機運の醸成を図るため、「いわて木づかい運動」の展開により、関係団体と連携しながら、日常生活や事業活動における県産木材の利用に向けた取組を促進します。

■県産農林水産物の評価・信頼の向上

- ・県産農林水産物や産地の評価向上を図るため、品質の管理や安定供給等に取り組むとともに、首都圏や海外において、流通関係者へのトップセールス等を実施するほか、量販店や飲食店等でターゲットとする消費者への販売促進活動を展開しています。
- ・県産農林水産物の販路開拓やブランド化を推進するため、関係機関・団体等と連携し、県産食材のPRや国内外におけるフェアの開催、販売促進キャンペーン等の取組を支援しています。
- ・県産木材の利用を促進するため、建築士・建築施工技術者の木造設計技術向上に向けた研修会の実施や、県産木材を使用した住宅の新築等への支援などに取り組んでいます。
- ・水産物の「三陸ブランド」の確立や産地魚市場における評価の向上を図るため、衛生品質管理の高度化に向けたアドバイザーの派遣や商談会の開催等を通じて、県産水産物やその加工品の魅力、産地の復興状況などの情報を発信しています。

計画における指標

いわて牛取扱い推奨店登録数（店舗）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
280	365	382	達成【A】 (100%以上)	365

園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率（%）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
28	42	31	遅れ【D】 (60%未満)	42

- 園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率：大雨や日照不足による生育の遅れや病害の発生により、園芸作物の出荷量が確保できず、契約に沿った計画的な出荷ができませんでした。

<今後の方向>

天候不良の影響による園芸作物の出荷変動に対応するため、予約相對販売や直接販売の強化による安定した取引に向けた支援等に取り組みます。

米のオリジナル新品種販売数量（トン）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
5,500	16,000	16,508	達成【A】 (100%以上)	16,000

素材需要量（千m<sup>3</sup>）＜再掲＞

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,346	1,206	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量：県産木材の需要拡大に向けて、県産木材を使用した住宅や民間商業施設への支援などに取り組み、令和4年の実績値は、令和3年に比べ増加したものの、資材高騰等により、全国的に住宅着工戸数が減少し、木材製品の需要が低下しました。

＜今後の方向＞

県産木材の需要拡大に向けて、公共施設等での県産木材の率先利用とともに、県産木材を使用する住宅や民間商業施設への補助による支援等に取り組みます。

また、全国植樹祭の開催を契機として、全県的に木材利用の機運の醸成を図るため、「いわて木づかい運動」の展開により、関係団体と連携しながら、日常生活や事業活動における県産木材の利用に向けた取組を促進します。

水産加工事業者1社当たりの製造品出荷額（億円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②75.19	②6.09	②6.02	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	②6.09

■戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応

- ・県産農林水産物の海外への販路拡大を支援するため、輸出コーディネーター等の人的ネットワークの活用や、相手国のニーズに沿った品目の販売促進活動などに取り組んでいます。

計画における指標

県産農林水産物取扱海外事業者数（社）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50	65	66	達成【A】 (100%以上)	65

■生産者と消費者の結び付きを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進

- ・農林水産物の域内消費の拡大を図るため、市町村の地産地消促進計画に基づく取組を支援し、産直による学校給食や医療・福祉施設等への食材供給など地元食材の利用拡大を進めるとともに、食と農に関わる多様な関係者の参画のもと、地域における持続的なビジネスの創出に取り組んでいます。

計画における指標

地産地消促進計画策定市町村数（市町村）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	33	33	達成【A】 (100%以上)	33

### 年間売上高1億円以上の産直数（施設）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②39	40	-	-	40

- 年間売上高1億円以上の産直数：専門家派遣による産直運営の改善指導などに取り組みましたが、現在調査中のため、実績値は測定できませんでした。

### ■温室効果ガス排出削減対策の推進

- ・事業所の省エネルギー性能の高い設備の導入補助や、脱炭素経営に積極的に取り組む事業所の認定などにより、事業活動の脱炭素経営支援に取り組んでいます。
- ・EV と太陽光発電の一体導入補助や、公共交通機関の利用促進による温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。

#### 計画における指標

##### いわて地球環境にやさしい事業所認定数（事業所）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑩202	272	308	達成【A】 (100%以上)	272

##### 乗用車の登録台数に占める次世代自動車の割合（%）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14.8	25.7	24.7	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	25.7

### ■再生可能エネルギーの導入促進

- ・全国トップクラスの再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、地域との共生を実現しながら、再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいます。
- ・災害にも対応できる自立・分散型エネルギーシステムの構築に向けて、市町村等が実施するエネルギーの地産地消に向けた取組を支援しています。

#### 計画における指標

##### 再生可能エネルギー導入量（MW）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,046	1,687	1,833	達成【A】 (100%以上)	1,687

##### 住宅用太陽光発電設備導入件数（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
25,634	29,700	33,927	達成【A】 (100%以上)	29,700

### チップの利用量 (B D t)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
230, 809	233, 800	-	-	233, 800

- チップの利用量：木質バイオマスの利用促進に向け、フォーラムの開催による普及啓発やコーディネーターによる事業者等への技術指導などに取り組みましたが、調査結果が未確定のため、実績値は測定できませんでした。

### ■地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

地球温暖化による気温上昇に伴う気候変動の影響とその対策について、パネル展示等のイベントの開催、テレビ等による広報を実施し、理解促進に取り組んでいます。

#### 計画における指標

気候変動対策に関する総合イベント参加者数 (人) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②6, 851	20, 000	17, 836	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	20, 000

**施策項目 7 創業、円滑な事業承継の支援**

**【推進した施策】**

- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 多様なものづくりの風土の醸成      ○地域コミュニティ活動を支える人材の育成
- 岩手ファンの拡大と U・I ターン の促進
- 安心して移住し、活躍できる環境の整備      ○女性の活躍支援

**【主な取組状況】**

**■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進**

- ・中小企業者が行う事業承継に向けた準備を早期かつ計画的に進めるため、商工会、商工会議所などの商工指導団体が、金融機関等と連携して実施する事業承継診断や、経営者との対話・相談などの取組を促進しています。
- ・中小企業者における親族や従業員等への事業承継を円滑に進めるため、商工会、商工会議所が中小企業者に密着し、事業承継計画の策定から事業承継後のフォローアップまで実施する継続的な取組を支援しています。

また、後継候補者がいない中小企業者に対しては、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とのネットワークによる相談対応や事業引受希望者とのマッチングなどの取組を促進しています。

**計画における指標**

商工指導団体による事業承継診断を受けた企業数（企業） [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	1,915	2,688	達成【A】 (100%以上)	1,915

事業承継の支援を受けた企業数（企業） [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
807	3,200	4,541	達成【A】 (100%以上)	3,200

**■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]**

(施策項目 1 を参照)

**■多様なものづくりの風土の醸成 [再掲]**

(施策項目 5 を参照)

## ■地域コミュニティ活動を支える人材の育成

地域づくりの担い手としても期待される地域おこし協力隊員(※)等が円滑に活動できるよう、(一社)いわて地域おこし協力隊ネットワークや市町村との連携のもと、隊員の受入拡大やスキルアップ、隊員間のネットワークづくりの支援などに取り組むとともに、起業や就業に関するセミナーの開催、事業承継に関する情報提供などを行い地域への定着を図っています。

※ 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を通じて、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

### 計画における指標

地域おこし協力隊員数 (人)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130	235	230	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	235

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数 (オンラインを含む) (人)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②629	1,179	1,276	達成【A】 (100%以上)	1,179

## ■岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進

- ・移住希望者の多様なニーズに対応するため、首都圏に設置している移住と就職の一元的な相談窓口及び就職情報マッチングサイトの機能を強化しています。
- ・首都圏等人材と県内企業・団体との複業マッチングを促進するなどし、関係人口の創出・拡大を図っています。
- ・「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携して、就職相談やインターンシップのほか、岩手版ワーキングホリデーの推進等を図るとともに、農林水産業など各分野の人材確保の取組と連携したU・Iターン希望者への情報発信に取り組んでいます。

### 計画における指標

移住相談件数 (件)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,263	7,500	8,712	達成【A】 (100%以上)	7,500

## U・Iターン就職者数（人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
794	7,060	4,780	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕：全国的に人手不足が顕著な状況にある中で、東京都への転入者が増加に転じ、東京都からの転出者数が減少に転じるなど再び就業者の東京一極集中への動きが見られることにより、本県におけるU・Iターン就職が計画通りに進みませんでした。

### <今後の方向>

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象としたU・Iターン相談会を実施するとともに、移住イベントをきっかけとした来訪者へのキャリアカウンセリングの実施などにより、移住希望者への伴走支援に取り組みます。
- ・ 帰省時期に合わせたUターンプロモーションの実施等により県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録促進と、マッチングの強化に取り組みます。
- ・ 「いわて暮らし応援事業」及び県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

## ■安心して移住し、活躍できる環境の整備

- ・ 市町村や関係団体、NPOなどの官民が連携した移住推進体制の強化を図るとともに、企業立地等に伴う移住者を含め、地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備に取り組んでいます。
- ・ 仕事に関する情報発信の強化や、起業の促進などにより、若者や女性の県内への移住推進を図るとともに、（一社）いわて地域おこし協力隊ネットワークとの連携による地域おこし協力隊員等を対象とした起業や就業に関するセミナーの開催、事業承継に関する情報提供などにより、地域への定着を図っています。

### 計画における指標

移住コーディネーター、定住支援員等を配置している市町村数（市町村）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
9	33	33	達成【A】 (100%以上)	33

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②629	1,179	1,276	達成【A】 (100%以上)	1,179

## ■女性の活躍支援〔再掲〕

（施策項目9を参照）

## 施策項目 8 小規模企業者への支援

### 【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

### 【主な取組状況】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進 [再掲]  
(施策項目 2 を参照)
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進 [再掲]  
(施策項目 7 を参照)
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]  
(施策項目 1 を参照)
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援 [再掲]  
(施策項目 3 を参照)
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出 [再掲]  
(施策項目 2 を参照)
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援 [再掲]  
(施策項目 6 を参照)
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援 [再掲]  
(施策項目 2 を参照)
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]  
(施策項目 6 を参照)



## 施策項目9 雇用環境の整備に対する支援等

### 【推進した施策】

- 働き方改革の取組の推進 ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- いきいきと働き続けるための健康づくりの推進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援 ○安定的な雇用の促進
- 雇用・労働環境の整備の促進 ○子育てと仕事の両立を図る家庭への支援
- 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進 ○女性の活躍支援

### 【主な取組状況】

#### ■働き方改革の取組の推進

- ・「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上、完全週休2日制普及等の働き方改革の取組を推進しています。
- ・休暇制度や各種手当などの雇用・労働環境の改善について、岩手労働局と連携し、産業関係団体への要望活動や国の各種助成制度等の普及啓発を行っています。

### 計画における指標

いわて働き方改革推進運動参加事業者数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
128	1,000	822	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	1,000

- いわて働き方改革推進運動参加事業者数〔累計〕：参加事業者数が年々増加するなど県内における働き方改革の機運醸成は着実に進んでいますが、事業所数の多い製造業や卸売業・小売業をはじめ、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業などの業種において、運動参加が伸び悩んだことなどにより、令和4年度は大幅な増加には結びつきませんでした。

### <今後の方向>

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核として、県内企業における休暇取得促進や長時間労働の是正など、働き方改革を推進します。
- ・ いわて働き方改革 AWARD の実施により、「働き方改革」の取組を表彰し、県内企業などに広く普及啓発します。
- ・ 年次有給休暇の取得促進など、働き方改革に向けた取組を推進するため、岩手労働局等関連機関と連携して経済団体等に対して要請を行います。
- ・ 企業が行う魅力ある職場環境整備の取組に要する経費について補助し、県内企業における働き方改革等の取組を推進します。

### 年次有給休暇の取得率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48.7	③75.0	③58.6	遅れ【D】 (60%未満)	③75.0

- 年次有給休暇の取得率は上昇傾向にはありますが、人手不足が続いていることなどにより、大きな上昇には結びつかなかったため、達成度は【D】となりました。

#### <今後の方向>

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核として、県内企業における休暇取得促進や長時間労働の是正など、働き方改革を推進します。
- ・ いわて働き方改革 AWARD の実施により、「働き方改革」の取組を表彰し、県内企業などに広く普及啓発します。
- ・ 年次有給休暇の取得促進など、働き方改革に向けた取組を推進するため、岩手労働局等関連機関と連携して経済団体等に対して要請を行います。
- ・ 企業が行う魅力ある職場環境整備の取組に要する経費について補助し、県内企業における働き方改革等の取組を推進します。

### ■仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- ・ セミナー開催や助成金のPRを行うなど、育児休業制度・介護休業制度の普及を促進します。
- ・ 仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。

#### 計画における指標

いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数（事業者）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65	315	375	達成【A】 (100%以上)	315

### ■いきいきと働き続けるための健康づくりの推進 [再掲]

### ■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

- ・ 若者に県内の仕事や企業について理解を深めてもらうため「いわてで働こう推進協議会」を中心に、中高生向けの出前授業や、高校生及び保護者への企業説明会、高校生と県内若手社員との交流会の実施などに取り組んでいます。
- ・ ジョブカフェいわて及び地域ジョブカフェ等を拠点として、キャリアカウンセリングや研修等により若者等の就職活動や職場定着を支援しています。
- ・ 若者の早期離職の防止のため、企業の育成担当者の育成スキル向上のためのセミナーを開催したほか、「いわて働き方改革アワード」において優良な取組を行った企業を表彰するなど、県内企業における人材育成や職場定着の普及啓発などに取り組んでいます。
- ・ 学生等のU・Iターン就職を促進するため、インターンシップや就職情報マッチングサイト及び首都圏の相談窓口を核とした就職活動等への支援を強化しています。

## 計画における指標

### 高校生の県内企業の認知度割合 (%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50.8	100.0	68.8	遅れ【D】 (60%未満)	100.0

- 高校生の県内企業の認知度割合：いわてで働こう推進協議会を核として、就職を希望する高校生を中心に認知度向上に取り組みましたが、進学を希望する高校生の認知度向上には至りませんでした。

#### <今後の方向>

- ・ 小学生段階からの県内の企業や産業状況の理解に向け、企業見学会や職場体験活動、企業説明会などの実施により、小学校から大学まで切れ目のないキャリア教育に取り組みます。
- ・ 県内の大学等及び企業が出展する合同説明会の開催や、県内就業・キャリア教育コーディネーターの活動等により、進学希望の高校生等に対する県内企業の認知度向上に取り組みます。

### ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数 (人)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2,052	8,400	6,361	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	8,400

- ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数〔累計〕：ジョブカフェいわてにおける実績については、新型コロナウイルス感染症対策として早期にオンラインを活用した相談等に取り組んだことにより概ねコロナ禍以前の水準となりましたが、併設ハローワークにおける実績については、オンラインによる相談対応の普及に遅れが見られました。

#### <今後の方向>

- ・ ジョブカフェいわてにおけるオンラインも活用したキャリアカウンセリングや研修等の実施等により、若者等への就職支援に取り組みます。
- ・ 県内企業の魅力を伝える授業や女子学生のための職場体験プログラムなどの県内大学生を対象とした事業を通じて、事業に参加した学生に対してジョブカフェいわての周知等を行うことにより、利用者及び就職決定者の増加につなげていきます。

### 高卒者3年以内の離職率 (%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
38.8	③35.6	③35.3	達成【A】 (100%以上)	③35.6

## U・Iターン就職者数（人）＜再掲＞

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	7,060	4,780	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕：全国的に人手不足が顕著な状況にある中で、東京都への転入者が増加に転じ、東京都からの転出者数が減少に転じるなど再び就業者の東京一極集中への動きが見られることにより、本県におけるU・Iターン就職が計画通りに進みませんでした。

### ＜今後の方向＞

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象としたU・Iターン相談会を実施するとともに、移住イベントをきっかけとした来訪者へのキャリアカウンセリングの実施などにより、移住希望者への伴走支援に取り組みます。
- ・ 帰省時期に合わせたUターンプロモーションの実施等により県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録促進と、マッチングの強化に取り組みます。
- ・ 「いわて暮らし応援事業」及び県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

## ■女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

- ・ 育児に配慮した託児サービス付き訓練を実施するなど、女性の再就職を支援するとともに、就職につながりやすい国家資格の取得を目指す訓練コースなど、雇用情勢や産業政策、企業ニーズを踏まえた職業訓練等の就業支援を実施しています。
- ・ 障がい者の態様に応じた多様な訓練を実施し、障がい者の就職を支援しています。
- ・ 在職者の技能向上を促進するため、企業ニーズを踏まえた在職者訓練を実施するとともに、職業能力開発に関する情報提供、相談・援助を行っています。
- ・ 高度な技能を継承する技能者を育成するため、全国レベルの競技大会への参加やものづくりマイスター制度の活用を促進するとともに、技能検定制度等の職業能力評価制度の普及を促進しています。
- ・ 県立職業能力開発施設において、時代の変化や地域社会のニーズに対応した体制整備を推進し、将来の本県産業を担う人材を育成するとともに、就職を希望する学生の県内就職を促進しています。

### 計画における指標

離職者等を対象とした職業訓練の女性受講者の就職率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑳79.7	㉔84.0	㉔75.7	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	㉔84.0

離職者等を対象とした職業訓練の受講者の就職率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸77.1	㊸80.0	㊸73.4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	㊸80.0

障がい者委託訓練の受講者の就職率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
56.0	69.0	33.3	遅れ【D】 (60%未満)	69.0

- 障がい者委託訓練の受講者の就職率：訓練開始前から修了までにおける受講者へのフォローアップ等に取り組みましたが、受講者と訓練委託先機関との間にミスマッチが生じたこと等により、就職に至らないケースが多くありました。

<今後の方向>

- ・ 関係機関と連携し、受講者の障がい特性の把握・理解に努めるとともに、訓練開始前に委託先企業に十分な説明を行うなど、受講者と委託先企業に対して、きめ細やかな適応支援に取り組みます。

技能検定合格者数（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,221	1,345	854	遅れ【D】 (60%未満)	1,345

- 技能検定合格者数：労働者の減少の影響及び高校生の受検候補者数が減少していることに加え、令和4年度から受検手数料の減免対象者の範囲が縮小された影響もあり、受検者数が想定より少なく、連動して合格者数も伸びませんでした。

<今後の方向>

- ・ 技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力していきます。
- ・ 若年層の受検料の負担を軽減する「受検料の減免措置」について一層の周知を図るとともに、高校生のキャリア形成の入口として工業高校にPRし、受検を喚起します。
- ・ 技能検定受検予定者に向けた在職者訓練能力開発セミナーの技能検定受検コースの周知を行い、技能検定合格率の向上を目指します。

県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸79.1	81.2	83.7	達成【A】 (100%以上)	81.2

## ■安定的な雇用の促進

・いわてで働こう推進協議会を中心に、安定的な雇用に向けた企業活動の支援や、医療・福祉分野における人材確保など、各分野での安定的な雇用確保の取組を推進しています。

・岩手労働局等と連携し、雇用調整助成金等を活用した安定的な雇用の確保や非正規労働者の正社員転換・待遇改善について、経済団体への要請活動を行っています。

### 計画における指標

高卒者の正社員求人割合（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
94.9	③96.3	③97.3	達成【A】 (100%以上)	③96.3

正社員就職・正社員転換数（人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12,115	52,800	38,322	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	52,800

- 正社員就職・正社員転換数〔累計〕：自動車・半導体関連産業を中心とした製造業のほか、宿泊飲食業、生活関連サービス業など多くの産業で正社員の有効求人倍率の持ち直しの動きがみられましたが、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響により経済の先行きが不透明であり、求人数に占める正社員構成比が低下しました。

#### <今後の方向>

- ・ 若者、女性、高齢者、障がい者等働く意欲のある全ての人の安定的な雇用の確保等の促進に向けて、企業や経済団体等に対する要請を行うなど、岩手労働局や市町村等と連携して取り組みます。
- ・ 就職氷河期世代等を対象に、オンラインも活用しつつ、セミナーや職場見学会、e-ラーニング講座等を実施することにより、企業とのマッチングによる非正規雇用労働者等の正社員就職等を促進します。

## ■雇用・労働環境の整備の促進〔再掲〕

## ■子育てと仕事の両立を図る家庭への支援〔再掲〕

## ■障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

・障がい者が地域において能力を発揮し、自立した生活ができるよう、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて就労先の確保や一般就労への移行及び就労後の職場定着を支援しています。

・第1次産業が盛んである本県の特徴を生かし、関係機関・団体との連携により、農福連携の取組を促進しています。

### 計画における指標

農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合（％）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
57	63	-	-	63

- 農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所※の割合：農林水産業者と就労継続支援事業所とのマッチング支援等に取り組みましたが、現在、国が調査中のため、実績値は測定できませんでした。

※ 一般企業での就労が難しいが、支援があれば相当程度の就労能力がある方が雇用契約に基づいて仕事ができる場所（最低賃金法等労働関係法令が適用）

### ■生涯を通じた健康づくりの推進

健康経営の取組の促進などにより、いきいきと働き続けるための健康づくりに取り組んでいます。

### 計画における指標

健康経営宣言事業所数（事業者）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
625	1,820	1,764	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,820

### ■結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

社会全体で結婚や子育てを支援する機運の醸成に向け、企業等による支援活動が促進されるよう、「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充を進めています。

### 計画における指標

「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（店舗）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,845	2,300	2,392	達成【A】 (100%以上)	2,300

### ■女性の活躍支援等

・女性の職業生活における活躍を推進するため、女性の職業能力開発や就業支援などを行うとともに、関係団体と緊密に連携し、情報共有や意見交換を行うなど業種を越えた活躍する女性のネットワークづくりを進めています。

・いわて女性活躍推進員の配置により、いわて女性活躍企業等認定制度を更に普及するなど、女性が活躍できる職場環境づくりを促進しています。

### 計画における指標

えるぼし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数（社）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
15	374	486	達成【A】 (100%以上)	374

女性のエンパワーメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数（オンラインを含む）（人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②431	651	655	達成【A】 (100%以上)	651

経営者研修受講者数（オンラインを含む）（人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②493	692	793	達成【A】 (100%以上)	692

## 施策項目 10 消費の促進等

### 【推進した施策】

- 県産品の販路の拡大への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進
- 外国人観光客の誘客拡大
- いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大
- 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進
- スポーツを活かした人的・経済的な交流の推進
- 県内事業者の海外展開への支援
- 質の高い旅行商品の開発・売込み
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 地域公共交通の利用促進
- 食の信頼向上の推進

### 【主な取組状況】

#### ■県産品の販路の拡大への支援

- ・アンテナショップ（東京、大阪、福岡）において、店内外催事の拡充やオンラインを活用した販売・情報発信を推進しています。
- ・また、県内事業者の販路拡大のため、買うなら岩手のものバーチャル物産展や国内大手ECモールへの出店、自社ECサイトの立ち上げ支援などのオンライン販売への進出を支援しています。
- ・さらに、県産品の対面販売の機会を確保するため、アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における新商品販売イベントの開催や、首都圏をはじめとする物産展の開催などにも取り組んでいます。

#### 計画における指標

アンテナショップ（東京）の新規成約件数（オンライン商談等を含む）（件）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②34	75	81	達成【A】 (100%以上)	75

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における県産品販売額（オンラインショップ、イベント販売等を含む）（百万円）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②450	690	583	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	690



## ■県内事業者の海外展開への支援

- ・海外展開を支援する県内関係機関や海外事務所と連携しながら、戦略策定、商談、貿易実務等への一貫した支援や、専門家による個別相談、セミナー等の開催などにより、世界の市場に挑む県内事業者を支援しています。
- ・県内事業者の海外展開の意欲を更に高めながら、現地での商談会・展示会への出展やオンラインによる商談、バイヤー招聘等により、県産品の輸出拡大を図っています。
- ・これまでに構築した国内外のビジネスパートナーとのネットワークを活用し、取引の継続・拡大を目指します。

### 計画における指標

県産品輸出額（加工食品・工芸品）（百万円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②469	510	887	達成【A】 (100%以上)	510

海外商談会等における出展企業数（オンライン商談を含む）（者）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②98	200	218	達成【A】 (100%以上)	200

海外商談会等における商談成約等件数（オンライン商談を含む）（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②58	100	98	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	100

## ■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進

- ・県、市町村、観光事業者、関係団体等と連携した観光キャンペーンなどによる誘客活動や情報発信に取り組んでいます。
- ・御所野遺跡をはじめ、工芸品、食文化、スノーコンテンツ、高原牧場、温泉等の観光コンテンツの磨き上げや、これを活かした北東北各県との連携による広域周遊ルートの構築などにより、北いわてへの誘客拡大を図っています。

### 計画における指標

観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）」（千円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②27.8	36.0	33.9	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	36.0

観光消費額単価（外国人・宿泊）」（千円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
44.4	49.9	—	—	49.9

- 観光消費額単価（外国人・宿泊）：観光庁で実施している訪日外国人消費動向調査結果を県の観光統計の観光消費額単価に取り入れています。令和4年においては、1-9月は、主要4空港（1-3月）、主要5空港（4-6月）、主要7空港（7-9月）のみの調査であり、実績値を測定できないため、評価対象外としました。

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化（件）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	18	30	達成【A】 (100%以上)	18

## ■質の高い旅行商品の開発・売込み

- ・3つの世界遺産や2つの国立公園など、本県の強みを生かした観光ルートの構築や「岩手ならではの」の魅力を体験できる高付加価値型の旅行商品造成を促進しています。
- ・高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館、震災遺構、被災体験の語り部、三陸復興公園、みちのくしおかぜトレイル、三陸ジオパーク、三陸鉄道など、被災地域の固有のコンテンツを効果的に情報発信し、これらを活用した復興ツーリズムなどの促進を図っています。

### 計画における指標

宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②411.1	628.1	503.9	遅れ【D】 (60%未満)	628.1

観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）（千円）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②27.8	36.0	33.9	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	36.0

三陸DMOセンターと連携して、高付加価値型旅行商品向け観光コンテンツの企画を行うプランナー数（人）[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	24	39	達成【A】 (100%以上)	24

- 宿泊者数（延べ人数・全施設）：北東北三県大型観光キャンペーンやいわて旅応援プロジェクト等の本県の観光需要喚起策等の効果もあり、年間を通じて観光需要が回復傾向にあったものの、令和4年1月から3月まで全国的なまん延防止等重点措置に伴う都道府県を跨ぐ移動の自粛や、オミクロン株の流行により感染者が過去最大になるなどの影響等により新型コロナウイルス感染症流行前までの回復には至りませんでした。

### <今後の方向>

各種観光キャンペーンを展開し、市町村や観光事業者等と連携し、県内全域を広く周遊するための二次交通の確保や、様々な体験などを組み合わせた付加価値の高い旅行商品造成を促進するとともに、復興道路等の新たな交通ネットワークを生かした復興ツーリズムや広域観光を推進します。

## ■外国人観光客の誘客拡大

- ・東北広域が連携し、各市場に対応したプロモーションの展開により、外国人観光客の東北全体への誘客を促進します。
- ・SNSなどを活用した情報発信により、海外の消費者に直接本県の魅力をPRするとともに、旅行会社へのプロモーションを展開し、東北への誘客拡大を本県への入込み、特に宿泊者数の増加につなげています。

### 計画における指標

外国人宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②8.8	39.3	2.6	遅れ【D】 (60%未満)	39.3

- 外国人宿泊者数（延べ人数・全施設）：インバウンドの回復に向け、海外の旅行会社との商談会の開催やインフルエンサーを招請した情報発信等の訪日プロモーション等に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外国との往来制限により外国人観光客が減少したことから、年間を通じた宿泊者数は減少しました。

#### <今後の方向>

新たな市場開拓や経済効果の高い高付加価値旅行者の誘客につなげるため、対象市場・地域の特性を捉え、東北各県と連携した戦略的なプロモーションの展開、旅マエ、旅ナカにおける情報発信の強化など受入環境の整備の支援などにより、インバウンドの誘客拡大を促進します。

外国人観光客に向けて発信した情報へのアクセス数（万回）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②127	125	199	達成【A】 (100%以上)	125

外国人観光客等受入セミナー参加者数（人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②29	50	88	達成【A】 (100%以上)	50

## ■売れる観光地をつくる体制の整備促進

- ・地域の観光産業を持続的に発展させていくため、マーケットインの視点を持ち、地域資源を磨き上げ、観光資源としてその価値を創造し、魅力的な観光地づくりにつなげていく観光産業をけん引する人材の育成を支援しています。
- ・宿泊・観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、ホスピタリティ（おもてなしの心、接客スキルなど）を身に付けた人材の育成を支援しています。

### 計画における指標

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化(件)  
[累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②16	18	30	達成【A】 (100%以上)	18

人材育成研修受講者数(人) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
297	1,200	1,326	達成【A】 (100%以上)	1,200

### ■いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、各路線の認知度向上策や旅行商品の造成支援などによる利用促進に取り組んでいます。
- ・観光目的、ビジネス目的の両方の空港利用者のニーズを踏まえて、国内線の路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善など、航空会社への継続的な働きかけ取り組んでいます。
- ・国際線の早期の運航再開に向け、新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、航空会社や旅行会社に対する要請活動や情報交換に取り組んでいます。
- ・国や関係機関等から積極的に情報を収集するとともに、国際線の運航再開時に対応できる態勢の整備に向けて取り組んでいます。
- ・空港アクセスの改善など空港利用者の利便性向上に取り組んでいます。

### 計画における指標

いわて花巻空港の航空旅客数(千人)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②142	383	381	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	383
内訳	内訳	内訳		内訳
(国内)	(国内)	(国内)		(国内)
142	360	381		360
(国際)	(国際)	(国際)		(国際)
0	23	0		23

国内定期便の利用率(%)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②41.7	52.9	53.1	達成【A】 (100%以上)	52.9

### 国際線の運航回数（回）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②0	228	-	-	228

### 国際線の利用率（％）

H29 現状値	R4 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②0.0	60.0	-	-	60.0

- 国際線の運航回数及び国際線の利用率：国際線運航再開に向けた航空会社等への働きかけや、受入態勢の整備等に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外からの入国制限措置等が続き、国際線の全便が運休となったため、評価対象外としました。

## ■地域公共交通の利用促進

- ・ 県、沿線市町村等で構成される利用促進協議会などを通じて、マイレール意識を醸成するなど、モビリティ・マネジメントの活用により県民意識の変化を促しながら地元利用の促進を図っています。
- ・ 三陸防災復興プロジェクト 2019などを契機とし、三陸鉄道「リアス線」としての一貫運行のメリットや地域の観光資源を生かした企画列車の運行など、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成及び情報発信の強化に対する支援を行いました。

### 計画における指標

#### I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
②436	448	442	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	448

#### 三陸鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値（R4）
52	77	61	遅れ【D】 (60%未満)	77

- 三陸鉄道の年間利用者数：三陸鉄道の利用促進を図るため、地域資源を生かした企画列車の運行や、車両へのモニター設置による車内企画の充実などに取り組みましたが、少子化による通学定期利用者の減少や新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、観光・団体利用の回復に遅れが見られました。

#### <今後の方向>

県・沿線市町村等で構成している三陸鉄道強化促進協議会により、期間限定企画きっぷや三陸の地域資源を活かした企画列車の造成等、三陸鉄道の利用促進の取組に対する支援をします。

## ■民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

民俗芸能など伝統文化を生かした交流人口の拡大を図るため、市町村や民俗芸能団体と連携し、本県が誇る民俗芸能の魅力を発信するなど、観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めています。

### 計画における指標

観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）（千人）

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②2,144	3,375	2,266	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	3,375

- 令和4年度の歴史・文化に係る観光地点での入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出の自粛のため、伸び悩みました。

### <今後の方向>

「いわての文化情報大事典」ホームページやSNS等を活用した歴史文化や伝統文化の更なる情報発信、世界遺産等への来訪者が民俗芸能を観覧できる機会の創出等により、歴史・文化に係る交流人口の拡大に取り組みます。

民族芸能イベント等を契機とした交流会等への参加団体数（オンラインを含む）（団体）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8	16	15	達成【B】 (80%以上 100%未満)	16

## ■スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

・スポーツによる交流人口の拡大を図るため、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組んでいます。特に、ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催の会場となった釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承し、スポーツイベントを展開しています。

### 計画における指標

スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130,000	410,000	446,171	達成【A】 (100%以上)	410,000

## ■食の信頼向上の推進

食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション(※1)を開催し、県民における食品の安全性についての県民の理解を促進し、安心感を醸成することにより、食の信頼向上を進めています。

また、HACCP(※2)制度化に向けて、食品営業者に対するHACCPの普及と岩手版HACCP(※3)からの円滑な移行に取り組みました。

### 計画における指標

食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーション(※1)の延べ受講者数(人) [累計]

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③090	252	284	達成【A】 (100%以上)	252

HACCP(※2)導入に関する講習会の受講者数(人)

H29 現状値	R4 目標値	R4 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,347	16,900	17,085	達成【A】 (100%以上)	16,900

#### ※1 リスクコミュニケーション

社会を取り巻くリスクに関する正確な情報を、行政、専門家、企業、市民などの利害関係者である関係主体間で共有し、相互に意思疎通を図ること。

#### ※2 HACCP

「Hazard Analysis and Critical Control Point」の頭文字の略語で「危害分析重要管理点」ともいい、食中毒等の食品に起因する事故の発生を未然に防止するため、食品の製造における危害を分析し、重要な工程を連続的に管理することによって、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のひとつである。

#### ※3 岩手版HACCP

HACCP本来の手法の導入が難しい小規模施設等であっても、HACCPの考え方に基づく衛生管理に取り組んでもらえるよう、それぞれの業態に合った、温度管理を中心とする重要管理点(1～5項目)を県があらかじめ示し、定期的な温度等の確認と結果の記録を行うなどの衛生管理を実践することにより、HACCPの考え方の普及を図る本県の取組。なお、県では、平成12年度から「HACCPシステム導入促進事業」を実施し、「岩手版HACCP」の導入を促進している。